

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三三・四七二
毎週一回発行

内部留保3%で賃上げ2万円可 非正規時給150円増も

資本金10億円以上の大企業（金融・保険を除く全産業）が空前の利益をあげるなか、主要96社の「内部留保」のわずか3%未満で、正規従業員に月額2万円の賃上げが可能なこと、全労連「2018年国民春闘白書」を基に国交労連がおこなった試算で明らかになりました。

なう場合も、試算できる78社の内部留保の3%未満でできる、としています。

トヨタ自動車の内部留保額は、20兆9659億円。正規36万4445人、非正規8万6005人に月2万円・時給150円の賃上げをするには、内部留保の0.68%があれば可能です。（赤旗日刊紙12日付より）

読売新聞の15日付1面でも「企業の貯蓄 日本は突出 GDP分析」と、学習院大学の伊藤元重教授が「これほど多い貯蓄を長期間にわたってため込んでいるのは、主要国では日本だけだ。」と指摘しています。

ご案内

2018国民春闘「第39回トヨタ総行動」にお越しください。2月12日（月）13時から、市内の山ノ手公園にて集会。愛労連や全労連などの同実行委員会が主催。



(注)内部留保額は「2018年国民春闘白書」、民間平均賃金は国税庁「民間給与実態統計調査」から

市議会と医師会が市民シンポジウム開催 在宅医療・介護について(参加レポート)

1月13日に豊田市福祉センターで、豊田市議会と豊田加茂医師会が市民シンポジウムを開催し、わたくし・市議選予定候補の本多のぶひろ、も参加いたしました。

基調講演は、落語家の林家源平氏による、介護をテーマにした新春落語。笑うことや声を出すこと等が、健康に良いとユーモアを交えて話され、会場から笑い声が続出。

第2部はパネルディスカッションで「在宅医療・介護の在り方について」(左写真)。豊田市の人口は将来、65歳



以上の方々が増える見込みであり、病院のベッド数にも限りがあるので、在宅医療・介護の役割が重要になってくる、等の説明がありました。

感想としては、大村よしのり市議が昨年の6月議会で求めたように、在宅医療の提供体制を豊田市南部にも構築していく必要性が高いと思いました。

日本共産党が新春のつどい

2019県議選・市議選・参院選の決意表明

1月14日、日本共産党1区委員会と同後援会が、市内で2018年新春のつどいを開催。もとむら伸子衆院議員、大村よしのり県議選予定候補、本多のぶひろ市議選予定候補、根本みはる豊田市議、牧田みつおみよし市議が、来春にむけての決意を表明。

もとむら衆院議員の国会報告では、9条改憲、沖縄・辺野古新基地を許さない闘いの決意が力強く語られ、元氣の出る、つどいとなりました。



大村よしのり
豊田市議会議員

根本みはる
豊田市議会議員

◆毎週土曜日 午前10時～12時
◆法律相談は弁護士
◆生活相談は市議会議員が相談にのります。
◆お申し込みは市議会議員か
◆日本共産党西三地区委員会まで
Tel: 〇五六四一三三二七八五

無料 法律・生活相談 おこなっています

LOVE 9 条

戦争はイヤだ

憲法

国民がいま政治に望むものは憲法改定ではありません。
世論調査でもわずか6%。
ところが、これまで散々憲法を踏みつけてきた安倍首相が、
憲法9条の明文改憲を言い出しました。
国民無視のこんな暴走はゆるされません。
9条があったからこそ、日本は戦後70年以上戦争をしてきませんでした。
平和憲法を変えさせないために、力を合わせましょう。



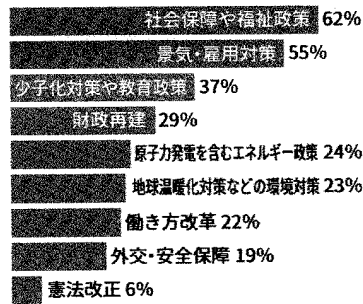
安倍9条改憲 NO!

統一署名
3000万人の声で改憲発議やめさせよう

9条に自衛隊を書き込めば「戦争する国」へまっしぐら

安倍首相は、「憲法9条1項、2項を残したまま『自衛隊』を書き込むだけ」と言います。しかしその自衛隊は、安保法制(戦争法)で海外派兵や武力行使ができるように変えられました。しかも、後からできた法律は、前の法律に優先するというのが法解釈の原則。憲法9条が空文化し、無制限に「戦争する国」になってしまいます。軍拡にお墨付きを与え、福祉や教育の予算も削られます。こんな9条破壊は許されません。

政治の優先課題(3つまで)



【中にはない1% (NHK「日本人と憲法2017年」調査から)】

朝鮮半島で戦争をおこさせないために

北朝鮮の軍事挑発は許せません。同時に、アメリカと北朝鮮の軍事衝突、核戦争は絶対に避けなければなりません。そのためには、憲法9条を生かして、日本が対話による解決の先頭に立つ必要があります。しかし、安倍首相は「対話」を否定しながら、アメリカの先制攻撃を公然と支持。さらに、憲法9条を変えて、無条件の海外派兵ができるようになれば、朝鮮半島情勢をさらに悪化させ、日本が戦争に巻き込まれる事態が生じかねません。



戦争を絶対止める
ルポライター
鎌田 慧さん

あらがうことが誇り
作家
落合 恵子さん



「叫ぶ声」大合唱を
同志社大教授
浜 矩子さん

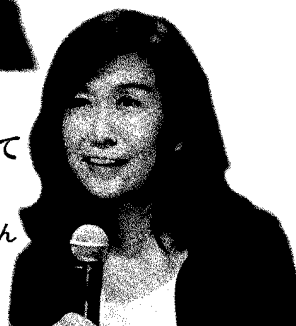


広範な勢力集めて
評論家
佐高 信さん



地殻変動起こして
精神科医
香山リカさん

多様な仕方で抵抗
埼玉大名誉教授
暉峻 淑子さん



応援して、私たちも、
私たちも、
応援して、私たちも、
私たちも、